

乗り合い移動サービス「チョイソコいながわ」を活用した移動支援サービス (含む地域活性化と見守り活動) を定着させるための実証実験と実施報告

メンバー

実施者 : ネットトヨタ神戸株式会社
連携団体 : 猪名川町、アイシン、日の丸ハイヤー、損害保険ジャパン

活動目的

- 猪名川町地域の交通不便を解消し、高齢者の外出促進に貢献。
- 民間企業が事業主体となり、エリアスポンサーからの協賛を得ることで採算性を確保。
- 各種イベントの企画・実施力により、単なる移動支援サービスにとどまらず、見守り活動や健康増進につながる外出支援の〈コト〉づくりを推進。

猪名川町：人口29,680人 高齢化率31.7%



活動実績：「チョイソコ」を活用した移動支援サービス

実施概要

※2022年
3月末現在

1) 利用者数	▶会員数：1,100名。▶利用経験者数：会員数の約1/3。
2) 主な目的地	▶「日生中央駅」「杉生(バス停)」「大島小学校前」「柏原」「柏原口」「柏原下西2」「坂田診療所」「船田医院前」他。
3) 運賃など利用者負担の形態	▶2022年4月より小児運賃、障がい者割引、回数割引を導入。→回数割引は『顔認証+キャッシュレス』により割引率自動適用実施。現在利用率約30%。
4) 自治体の補助金・助成金	▶猪名川町からは「チョイソコいながわ」の運行について助成金有り

達成目標と実績 ※事業全体

目標項目	2年後の最終目標(助成終了時)	2年後の実績(助成終了時)	目標と実績の差の理由
「チョイソコ」を活用した移動支援の実証実験	2022年4月から4条本格運行へ移行	2022年4月から4条本格運行へ移行	
登録会員数	2000名	1071名	コロナ禍で住民説明会減
当社主催イベント	20回	4回	コロナ禍による中止が主な原因

事業で得た地域との関わり・知見

地域との関わり

1) 地域コミュニケーションづくり	▶コールセンターへの入電の約7割は70歳以上の女性で、オペレーターとの日常会話(世間話)が「見守り機能」を果たしている。
2) 認知状況と受け入れ状況	▶活動制限下で「チョイソコ」を一定程度認知され、会員の約1/3は安定的に利用中。免許返納の進展により今後利用者増加を見込む。
3) 利用者満足度調査の実施状況	▶ご利用者の皆様には概ね高評価をいただいている。ご利用経験のない方々には如何にして使っていただくか検討。
4) 本事業の効果	▶70～80代のご利用が58%。…ターゲットの高齢者の移動の不便の解消とQOLに貢献。

本事業を通じて得た知見

1) 導入方法実験手法の評価	▶無償の実証実験からスタートしたことで「チョイソコ」という交通システム自体や利用手法などが徐々に浸透してきている。 ▶コールセンターへ立ち寄られる会員との交流や、スペースをイベント用に活用しており、マイナンバーカードの導入促進などのお手伝いも行っている。
----------------	--

事業継続について

1) 助成終了後の実施体制・方針の概要・役割	事業主体として猪名川町様、日の丸ハイヤー様と連携して「チョイソコ事業を」継続。地域活性化の支援も継続。実施体制も継承。							
2) 実施体制	事業主体	ネットトヨタ神戸(株)	運行主体	日の丸ハイヤー(株)	その他連携先	猪名川町 まちづくり部 都市政策課	運行形態	事業用車両(緑ナンバー)
3) 継続時の利用方法・利用時間 / 予約方法 / 運賃等	7:00～18:00* <日・祝日・年末年始(12/30～翌年1/3)> 運休/ 電話・ネット予約。30日前～当日1時間前まで。*一部8:00-17:00/一乗車300円(一部地域で200円)							